

静岡産科婦人科学会雑誌 3巻1号 巻頭言

メタデータ	言語: jpn 出版者: 静岡産科婦人科学会 公開日: 2014-12-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金山, 尚裕 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2739

静岡産科婦人科学会誌第3巻発行にあたって

静岡産科婦人科学会 会長 金山尚裕

平成23年度には日本産科婦人科学会の公益法人化に伴い、日本産科婦人科学会静岡県地方部会から静岡産科婦人科学会となりました。最近の静岡産科婦人科学会の学術集会は春、秋とも演題数も増加し、質問や議論も多く盛り上がってきています。和文の原著論文の雑誌が減少していることなどもあり、残念ながら折角の貴重な発表が未来永劫に残る論文という形になっていないもの多くあります。近年、論文は産婦人科専門医の取得や産婦人科研修施設の更新に必須のものとなっており、論文の重要性が増しています。産婦人科専門医の申請に筆頭著者の論文が最低一つ必要で、産婦人科研修施設の施設認定には5年間に3編の論文（原著論文、症例、総説）が必要になります。昨年は産婦人科研修施設の更新保留が2施設、不合格が1施設ありました。いずれも論文が足りないという理由です。そのような背景もあり静岡の産婦人科医のために静岡産科婦人科学会誌が誕生し、今回第3巻の発刊となりました。本誌は和文雑誌でかつ電子ジャーナル化しています。ISSN（国際標準逐次刊行物番号）を取得していることは特筆すべきことと思います。グーグルで検索もできるようになっています。内容を充実させるために優秀な先生方による peer review 体制も引いています。専門医試験の論文投稿、施設更新のための論文に是非利用して頂きたいと思い編集作業を行っています。今回症例報告含めて原著論文10編を発刊しました。県内の専攻研修の方からの投稿も多くあり、本来私達が目指した雑誌の方向性となっていており喜んでいきます。もちろん開業の先生方、専門医先生方の論文や総説も大歓迎です。第3巻の発刊により本雑誌もかなり周知されてきました。引き続き会員の皆様の投稿お願いします。